

セイリヨウライン 全体会議

自らに誇りをもつて仕事を

【愛知】セイリヨウライン（幣旗貴行社長、大府市）はこのほど、4年ぶりに全体会議を開催。安全への思いを新たにしました。

冒頭、幣旗良太会長は、経済状況や近隣警察署管内における交通事故について説明。燃料高騰による影響を数値化し、エコドライブへの理解を求めた。

続いて登壇した幣旗社長は、物流政策

パッケージに言及。大きな変化のタイミングにあると前向きに捉え、「ライフラインを支える自分たちに誇りをもって仕事をしてほしい」と伝えた。

大府本社・小牧営業所の統括リーダー・各グループリーダーによる発表では、半年間の事故やトラブルを総括し、事前準備や心構えの大切さを訴えたほか、「防衛活動・

防衛運転・防衛行動・防衛情報」の具体的な行動、活動目標を示して意識共有を図った。

また、交通事故鑑識研究所の交通安全アドバイザー、長森紀紘氏による安全運転講習会も開かれ、交差点での事故の実態をテーマに、ドラ

レコ映像を検証。身振り手振りを交えた心に刺さる長森氏の言葉に、誰もが真剣に耳を傾けた。

幣旗社長は、「リーダーの発表スキルが上がっていることに驚かされた。しっか



幣旗社長

り準備して臨んでいることが伝わって率直に嬉しい。参加された協力会社や荷主さんの評価も高く、自社の文化として継続、発展させていきたい」と総評した。

（富田 香）